

大槌町議会報

第 130 号

2013 年 2 月 20 日 発行

発行 上閉伊郡大槌町議会

編集 議会報編集特別委員会

☎ 028-1192 大槌町上町 1 番 3 号

T E L (0193) 42-2111

F A X (0193) 42-3855



11 月 11 日、神戸市などからの分灯により、「3. 11 大槌町希望の灯り」点灯式が行われる。(城山公園内)

平成 24 年

◆ 第 4 回 定 例 会

◆ 第 9 回 臨 時 会

平成 25 年

◆ 第 1 回 臨 時 会

紙
面
内
容

■ 審議された議案・議会の動き・・・②～③

■ 一般質問の内容・・・④～⑦

■ 組合議会報告・・・⑧

第4回定例会

一般質問に4議員が登壇

平成24年第4回定例会は、12月10日から12日までの3日間の会期で開催されました。

今期定例会には、大槌都市計画事業震災復興土地区画整理事業施行条例、大槌都市計画地区計画等の案の作成手続に関する条例、災害危険区域に関する条例の条例制定や職員定数条例、一般職の任期付職員の採用等に関する条例、町税条例の一部改正、財産の取得、一般会計等の補正予算など議案13件が提出されました。

また、一般質問には4議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

◆議案―*

◎大槌都市計画事業震災復興土地区画整理事業施行条例の制定：土地区画整理法の規定により事業の名称・範囲、費用の負担、土地区画整理委員会及び委員の定数等について定めるものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌都市計画地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定：土地区画整理事業施行区域の都市計画等について、住民の

を踏まえて、条例の一部を改正するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例：行政内部では得がたいような特定の専門分野における専門性等を有する者を採用し、その者の

有する高度な専門的な知識経験又は優れた識見を特定の行政課題の処理等に活用するため、「特定任期付職員」の給与について定めるために条例の一部を改正するものです。
(賛成多数・原案可決)

◎大槌町職員定数条例の一部を改正する条例：経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法等の一部を改正する法律が平成23年12月2日に公布されたことに伴い条例の一部を改正するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎財産の取得：独立行

政法人都市再生機構が整備を進める大ケ口地区の災害公営住宅が完成後、町が財産を取得するものです。契約金額15億5702万9500円。
(全員賛成・原案可決)

◎財産の取得：独立行政法人都市再生機構が整備を進める源水地区の災害公営住宅が完成後、町が財産を取得するものです。契約金額5億3195万3千円。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町一般会計補正予算(第7号)を定めること：防災集団移転促進事業等の復興交付金積立金及び集積がれき中間処理及び最終処分場委託料等を補正するものです。また、防災集団移転促進事業ほか17件を復興交付金事業の交付決定時期等により翌年度に繰り越すものです。
歳入歳出予算から218億4699万3千円を追加し、予算の総額を

議会の動き

(11月)

- 5日 紫波町議会行政視察
- 7日 宮城県議会行政視察
- 大阪府千早赤坂村議会行政視察
- 8日 北海道音更町議長・町長表敬訪問
- 岩手沿岸南部広域環境組合議会議員代表者会議(釜石市)
- 岩手県町村監査委員臨時総会・研修会(9日花巻市)
- 愛知県西尾市議会行政視察
- 12日 岩手県町村議会議長会第3回政務調査会
- 13日 臨時総会(東京都)三陸縦貫自動車道整備促進協議会合同要望(14日釜石市、東京都)
- 岩手県沿岸知的障害児施設組合議員研修(14日滝沢村、秋田県)
- 14日 第56回全国町村議会議長全国大会(東京都)
- 15日 東部町村議会議長会先進地視察(16日淡路市、神戸市)
- 岩手県後期高齢者医療広域連合11月定例会(盛岡市)
- 19日 岩手県町村議会議長会広報担当者研修会

773億331万6千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)を定めること…一部負担金減免措置に伴う給付金の増により補正し、歳入歳出予算から1億3554万8千円を追加し、予算の総額を23億7578万8千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)を定めること…県道工事に伴う金沢簡易水道配水管敷設工事により補正し、歳入歳出予算から80万円を追加し、予算の総額を2632万円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町下水道事業特別会計補正予算(第4号)を定めること…町方地区ほかの下水道事業計画調査設計業務

委託料及び白沢地区雨水排水路整備工事等により補正し、歳入歳出予算から1億9947万9千円を追加し、22億2869万7千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度大槌町水道事業会計補正予算(第1号)を定めること…収益的収入は受託工事収益104万9千円を追加し、予定総額1億5426万2千円とするものです。

収益的支出は電力料金、受託工事費用等299万2千円を追加し、予定総額2億896万円とするものです。

資本的収入は水道施設復興事業補助金等2362万8千円を追加し、予定総額3608万7千円とするものです。

第9回臨時会

平成24年第9回臨時会は、11月29日に開催されました。

◇議案—*

◎工事請負契約の締結…平成23年度林道災害復旧工事の法面工増額のための変更契約をするものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成24年度一般会計補正予算(第6号)を定めること…衆議院の解散に伴う選挙費用を補正するものです。
(全員賛成・原案可決)

第1回臨時会

平成25年第1回臨時会は、1月11日に開催されました。

◇議案—*

◎工事請負契約の締結…白沢地区の雨水の浸水

等の対策として、排水路整備工事を実施するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎財産の取得について…中学校用電子黒板を9台、そのほか付属品を購入するものです。
(全員賛成・原案可決)

請願

《継続審査となった請願》

◎大槌町畜産振興公社解散に伴う今後の新山牧場の利用についての請願書…大槌町畜産振興公社が解散する旨の説明会があり、今後の新山牧場の利用について、放牧利用組合(仮称)を設立し運営を委ねたい旨の打診があったが、専属職員(事務職)の配置、実務職(監視員)や代替粗飼料を確保し、町営牧場としての運営を希望する請願です。
大槌支部 支部長 藤原長英

《不採択となった請願》

◎被災した大槌町旧役場とその周辺の現状保存を求める請願書…津波の怖さを一目瞭然と後世に伝え、子孫の命を守り、国内外からの訪問者、弔問者による慰霊の場所とするため、被災した大槌町旧役場とその周辺の現状保存を求めた請願です。
(大槌被災現場永久保存実行委員会 代表 坂本真一)

◎まちづくり及び町づくり会社の企画運営の参画に関するものについて
の請願…私たちのふるさと大槌の復興にあたり、町づくり計画や町づくり会社のあり方について役所だけの企画決定するのではなく、町民の声に耳を傾けるとともに私たちもその企画決定の過程に参画したい請願です。
(一般社団法人おらが大槌夢広場 代表理事阿部敬一ほか7団体)

20日	(20日花巻市)	熊本県岩北町議会議政視察
21日		軽米町議政行政視察
22日		北海道音更町議政表敬訪問
22日		岩手沿岸南部広域環境組合議会11月定例会
26日	(釜石市)	産業建設常任委員会
27日		議政運営委員会
27日		釜石大槌地区行政事務組合議会10月定例会
28日	(釜石市)	三陸縦貫自動車道整備促進協議会合同要望
29日	(仙台市)	第9回臨時会
		全員協議会
	(12月)	
3日		南三陸国道事務所要望
5日	(釜石市)	東北地方整備局要望
6日	(仙台市)	復興庁要望(東京都)
7日		議政運営委員会
10日		第4回定例会(12日)
11日		総務教民常任委員会
12日		産業建設常任委員会
15日		議政運営委員会
25日	(東京都)	釜石大槌地区行政事務組合議会臨時会
		全員協議会(釜石市)



阿部俊作議員

住宅再建希望者すべてに支援しては

震災時町内居住の被災者に限定

【問】東京電力原発事故による放射能汚染処理の支援策は。

【答】(熊谷産業振興部長) 利用自肅の規制を受けた牧草は「岩手県利用自肅牧草処理円滑化事業」を活用し、118トンの牧草の埋設保管処理を11月に完了した。規制を受けている牧草地61・4ヘクタールの除染作業も実施している。

【問】消費税増税、環太平洋連携協定(TPP)による大槌町への影響は。

【答】(碓川町長) 詳細に金額や数量を推計することは困難。生産物価格の下落が懸念される。県内外の地方自治体や全国の生産者団体等と連携し、生産者が不利益を被ることがないように国に対し強く要望する。町を挙げて農林漁業の6次産業化、ブランド化等取り組みたい。

必要な経費を国が助成する「がんばる養殖復興支援事業」と「がんばる漁業復興支援事業」の実施を県と連携し支援実施している。

【問】児童・生徒のいじめ対策は。

【答】(伊藤教育長) 8月に実施した調査では、いじめ認知件数が、23件(小学校19件、中学校4件)ある。そのうち、継続指導を行っている事例は7件(小学校6件、中学校1件)ある。今後とも、子どもに寄り沿う姿勢を大切にしながら、学級担任を中心に、全校体制で指導にあたる。

【問】自動車での避難移動を検討しては。

【答】(土橋地域整備部長) 県が建設予定の災害公営住宅は、中高層(3階〜5階)の集合住宅とし、エレベーターはストレッチャー仕様になっている。【問】実家が被災し、その遺族が大槌町に住宅再建



住宅再建工事中の現場

議会を傍聴しませんか
3月定例会は 3月1日(金)
開会予定です。
予定は変更される場合があります。
詳しくはお問い合わせください。

循環型まちづくり実現に向けて

粘り強く要望活動を行う



芳賀 潤 議員

【問】大槌川（大ケロ）と小槌川（三枚堂）を結ぶ新設の道路を設置し、循環型のまちづくりに対する考えは。

【答】（碓川町長）

東日本大震災により中心市街地が壊滅的な状況となり、町民の多くは、より安全な場所に集団移転をせざるを得ない状況である。コンパクトで循環型のまちづくりが時代の流れであり、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、交通ネットワークを形成し、復興にとどまらず、まちの更なる発展につなげていきたい。両河川を結節すること

【問】公共施設の配置について、いまだ決定に至っていない。現在の進捗状況と見通しは。

【答】（碓川町長）

大槌小中学校については、町の復興計画で決定したとおり、沢山地域・県立大槌高等学校周辺を小中一貫教育校として整備予定であり、現在、予定地の地権者に対し意向調査を進めている。

大槌消防署については、国道45号線旧安渡小学校裏を候補地として検討を進めてきたが、法定継続人の絞り込み及び現地立会の調整に相当の時間を要することから、新たな候補地として旧大槌中学校跡地を予定している。

今後旧大槌中学校の解体及び盛土等を進めるとともに、大槌消防署建設候補地としてきた国道45号線旧安渡小学校裏については、復興関係用地として活用を図ることとして、安渡地区住民と協議していく。

県立大槌病院の再建場所については、寺野地区を有力な候補地とする方向で、県医療局と調整を進めている。

【問】大槌消防署へのヘリポートの設置について。

【答】（岩館消防課長）

消防署敷地として、8千㎡×1万㎡を予定しており、ヘリポートは十分取れるものと思っている。防災航空隊からも現地視察の結果、ヘリポートとして対応は可能と回答をいただいている。

【問】中小企業資産復旧事業補助などがある。現在の申請状況とその不具合についての解決策は。

【答】（三浦商工労政課長）

中小企業資産復旧事業補助は、現在県に申請している。建物と付帯設備等だけが補助対象であり、備品什器等は対象外であり、この不具合は、他の市町村でも共通認識であり、県に要望している。

【問】復興関連（高齢者等対策）について。

【答】（門脇民生部長）

高齢者等サポート拠点では延べ2万8千人余の利用をいただいている。高齢者等共同仮設住宅は10月末現在入居者25名（定員40名）となっており、ほぼ横ばいとなっている。現在の高齢者等サポート拠点等の機能や仕組みは、町にとっても有益な財産であり、復興過程においてはもちろん、復興が成し遂げられた後にもこれを活かす、何らかの形で継承していく必要がある。今後も事業者との連携を強化し、事業運営の充実に向けて取り組んでいく。

【答】（土橋地域整備部長）

「災害公営住宅整備計画検討会」において、災害公営住宅の高齢者対策については、バリアフリーをはじめ、高齢者を意識した間取りや多様なコミュニティ形成のため住居構成等、高齢者が住みやすく、出会いの場を数多く設ける等施設配置のあり方について検討を行っている。



東梅 守 議員

事故を防ぐため行政と住民との連携構築を

関係機関等と連携し協議していく

【問】仮設に配置されている支援員の仕組みは。

【答】（碓川町長）

地域支援員配置事業については、北上市が県の緊急雇用対策事業を活用し、事業受託者である（株）ジャパングリエイトが地域住民の方々を雇用し、町内仮設住宅における集会所等の管理のほか、自治会や地域住民の活動支援、見回りなどを行っている。

【問】地域支援員の方の中に、ストレス等健康状態に問題があるとの報道があった。大槌町で不調を訴えている支援員の人数は。

【答】（碓川町長）

大槌町で活動している地域支援員でストレス等により不調を訴えている方は該当がない状況である。

【問】町としての今後の対策は。

【答】（碓川町長）

現在まで、釜石ころのケアセンター、メンタル対策支援センター等を通じ支援員のメンタルケア講習会を開催しており、今後、北上市と連携して対応していきたい。

【問】仮設住宅の場所によって支援員の活動内容に差があるのではないか。

（株）ジャパングリエイトと地域住民との関係は。

【答】（田中被災者支援室長）

勤務体系の平日時間は8時30分～17時30分まで、土日の勤務は休みである。ただし、平日対応の17時30分以降21時まで、事務局に待機となっている。

土日・祝祭日等は、同様に8時30分～17時30分まで事務局に待機となっている。

見回りは、一軒一軒声かけをしている。支援員の活動内容に差がないように、研修等を積んで対応していると聞いている。

【問】11月30日に仮設住

宅で事故が起きた。即座の対応が出来なかった。見回りで得た要支援の情報共有がなかったため、事故が起きたのではないか。

【答】（田中被災者支援室長）

各課と各関係機関と連携して打ち合わせを行っている。そのほか個別の案件部分においては、町の健康推進・健康包括・社協のLSA（生活支援相談員）等と連携致し、毎月情報共有の場を設けている。

仮設で一人の方が亡くなられたことに関しては、再度関係機関等と検証していく。

【問】支援員配置事業について、大槌町で独自にできないか。

【答】（田中被災者支援室長）

より良い事業とするために、役場の関係課で再度検討したい。支援員については、防火訓練・蘇生訓練・事件等への連絡体制訓練も行っており、対応に沿った形での事業等をお願いしたい。

【問】災害公営住宅のペースについて、改善や予定は。

【答】（西迫管理用地課長）

検討委員会の意見も聞きながら真摯にとらえていきたい。

【問】支援員が被災者から相談を受けたことを個人情報保護法などが壁となり、次のステップにつなげられない問題は。

【答】（碓川町長）

近所同士のトラブルに若干心を痛めている地域支援員もいるのではないかと思っている。被災者の目線に立ちながらも、個人情報保護法の視点については、何事も杓子定規に個人情報というわけにはならない。

役場と（株）ジャパングリエイトとが一体となり、円滑な地域支援員のあり方について、さらに懇談、協議をして対応したい。

町独自支援 中古住宅・リフォームは

事業の目的に適さず



東梅康悦 議員

【問】大槌町独自支援事業で、中古住宅の購入や被災住宅のリフォームを事業の対象外としたのはなぜか。

【答】(石津副町長) 大槌町被災者新築住宅補助金独自支援事業は、居住する住宅が全壊(半壊解体を含む)した被災者の方が大槌町内で居住する新築住宅を建設すること、早期の生活再建と宅地の有効利用の促進を図ることを目的とする。中古住宅の購入では、被災宅地の有効利用が図られず、リフォームにおいては、建物の転売が新築住宅よりも容易であること。売買後の町外転出

も可能と考えられることから、今回の独自支援事業に適さないと判断した。

【問】同じ被災者であるということ踏まえ、中古住宅の購入やリフォームにも補助金額に差をつけながらも対応できないか。

【答】(田中被災者支援室長) 新築以外の補助のメニューは、補修と改修があり、補修では、限度額30万円ほどの県の事業がある。改修については、耐震が限度額60万円、バリアフリーが限度額60万円、県産材利用が限度額20万円があり、合算して利用

できることから、役場窓口に相談に来た被災者の方々には説明をし、活用していただきたい。

【問】仮設住宅の道路環境は幅員が狭く、交通量の増加により危険な箇所が見受けられる。現在の状況をどのように認識しているのか。

【答】(門脇民生部長) 道路管理者、関係団体、住民の代表者、釜石警察署と合同で現地調査を行い、どのような危険があるのか。また安全対策として道路改良や交通規制が必要なのか。あるいは看板の設置など注意喚起や広報、啓発活動で対応可能なかを検証し、より適切な対応策を検討したい。

当面の対策は釜石警察署に協力を得て、パトロールの強化や注意を喚起する安全運転への啓発のぼりや看板を検討したい。

定例会・臨時会 議員出欠表

議席番号	議員氏名	第4回定例会 (12/10～12)		第9、1回 臨時会	
		出席	欠席	出席	欠席
1	三浦 諭	3	0	2	0
2	芳賀 潤	3	0	2	0
3	東梅 守	3	0	2	0
5	阿部俊作	3	0	2	0
6	東梅康悦	3	0	2	0
7	小松則明	3	0	2	0
8	里館裕子	3	0	2	0
9	金崎悟朗	3	0	2	0
10	後藤高明	3	0	2	0
11	岩崎松生	3	0	2	0
12	野崎重太	3	0	2	0
13	阿部義正	3	0	2	0
14	阿部六平	3	0	2	0

【問】国政に対する町長の姿勢を伺う。12月16日に実施される衆議院選挙は、震災後初の国政選挙である。今回の選挙へのスタンスと今後の政党への関わり方は。

【答】(碓川町長) 「被災地の復興」については、各政党ともに当然の課題であると思う。被災自治体の首長としては、町民のみなさまから託された町長としての職務に専念し、町民の生活の足元を見据えた町政を進めるとともに、地方



12月6日、町長と議員が要望活動(復興庁)

自治体から国政に向けて被災地の現状発信に取り組み。党派を超えた最重要課題として「一日も早く、一刻も早く、被災地の復旧・復興」に尽力いただけるように各政党に訴えてまいります。

釜石大槌地区行政事務組合

金崎悟朗議員報告

去る11月27日に10月定例会を開催し、会期は1日、付議事件は、議案6件、認定1件、いずれも承認された。

行政事務組合公告式条例の一部を改正する条例の専決処分承認と、行政事務組合火災予防条例の一部を改正する条例については、原案のとおり承認、可決された。

また、東日本大震災大津波で被災した釜石消防署の復旧等に係る工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて議案3件は、いずれも

岩手県沿岸知的障害児施設組合

東梅 守議員報告

去る10月22日に10月定例会を開催し、会期は1日、付議事件は2件、いずれも原案のとおり承認された。

平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定については、歳入合計2億6

平成24年度一般会計補正予算(第1号)については、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ

岩手沿岸南部広域環境組合

岩崎松生議員報告

去る11月22日定例会を開催し、会期は1日、付議事件は、議案2件、認定1件、いずれも原案のとおり承認された。

負担金の算定に関する条例の一部を改正する条例については、住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行により、外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となったことに伴い、負担金の負担割合に関する支弁方法を改めることとして、所要の改正を行うことで原案のとおり可決された。

平成24年度会計補正予算(第1号)については、ごみ処理量等の確定見込みによる調整及び災害ごみ受け入れに伴う施設減価償却分を新たに積立すること等に伴い、歳入歳出にそれぞれ2336万9千円を追加し、補正後の予算総額を10億2611万5千円とする。このうち原案のとおり可決された。平成23年度会計歳入歳出決算については、歳入歳出それぞれ8億5890万1407円、歳出決算額8億4560万1190円とすることで原案のとおり認定された。

岩手県後期高齢者医療広域連合

阿部義正議員報告

去る11月19日定例会を開催し、会期は1日、付議事件5件、いずれも承認された。

は、それぞれの決算に監査委員の意見を付けて原案のとおり認定された。

損害賠償請求事件における和解の専決処分については、原案のとおり承認された。

平成24年度一般会計補正予算(第1号)については、平成23年度繰越金を財政調整基金と予備費に充てるもので、歳入歳出それぞれ1060万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億1364万4千円とすることで可決された。

平成24年度特別会計補正予算(第2号)については、主に平成23年度繰越金を負担金の返還金と予備費に充てるもので、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ30億3889万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1442億9215万1千円とすることで可決された。

編集後記

▼東日本大震災から二度目の正月を迎えた。
▼改めて復旧・復興にスピードをもって取り組むことを決意した。
▼従前にもまして、住民・行政・議会が一体となり、前に進んでいかなければならない。
▼年末から正月にかけて、高校生・大学生・社会人の駅伝をテレビで観戦した。それぞれの「たすき」に思いを込めて走る姿を観た時、多くの感動を覚えた。
▼私たちの住む社会には、さまざまな「たすき」があると思う。一人ひとりがそれぞれの「たすき」を次に繋げるためにも、自分のペースで今年も走らなければならぬ。(康悦)

議会報編集特別委員会
委員長 東梅康悦
副委員長 金崎悟朗
委員 里館裕子
委員 阿部俊作
委員 三浦 諭